

商工業

留萌の商業

留萌振興局管内の商業は、平成28年経済センサスで見ると、商店数は560店（全道の1.0%）、従業者数は2,819人（全道の0.6%）となっており、1店当たりの従業者数は5.0人（全道7.9人）となっています。

年間商品販売額は、平成28年経済センサスで見ると、820億円と全道の0.4%であり、1店当たりの販売額は1億4,653万円（全道平均3億4,846万円）、従業者1人当たりの販売額は2,910万円（全道平均4,383万円）と、全道平均を大きく下回っています。

これは、管内の商店の大部分が経営規模の零細な事業者であることや管内人口の減少に加え、購買力が札幌、旭川など都市部へ流出していることによるものです。

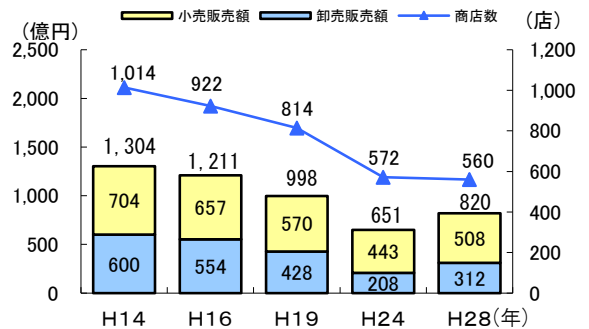
このため、人材の確保・育成、情報化・システム化の促進などにより、経営の近代化・合理化を図るとともに、地域住民のニーズに的確に対応した魅力ある商店街づくりを進めることが課題となっています。

管内商業の概要（平成28年）

区分	管内			全道	
	数	構成比	対全道比	数	構成比
商店数(店)	560	100.0%	1.0%	56,136	100.0%
卸売業	85	15.2%	0.6%	13,477	24.0%
小売業	475	84.8%	1.1%	42,659	76.0%
従業員数(人)	2,819	100.0%	0.6%	446,254	100.0%
卸売業	391	13.9%	0.3%	112,948	25.3%
小売業	2,428	86.1%	0.7%	333,306	74.7%
年間商品販売額(百万円)	82,061	100.0%	0.4%	19,561,450	100.0%
卸売業	31,221	38.0%	0.3%	12,162,739	62.2%
小売業	50,840	62.0%	0.7%	7,398,711	37.8%

(経済センサス)

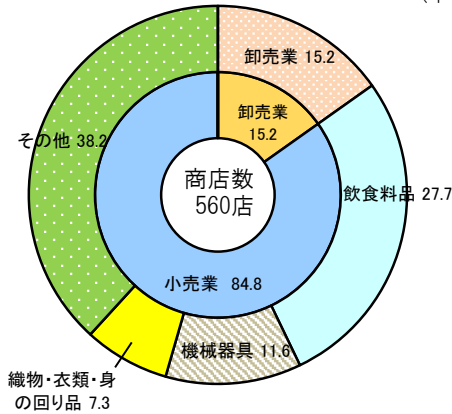
商店数及び年間商品販売額の推移



※飲食店を除く。
※H14～H19は幌延町のデータを含む。

商店数の構成比（平成28年）

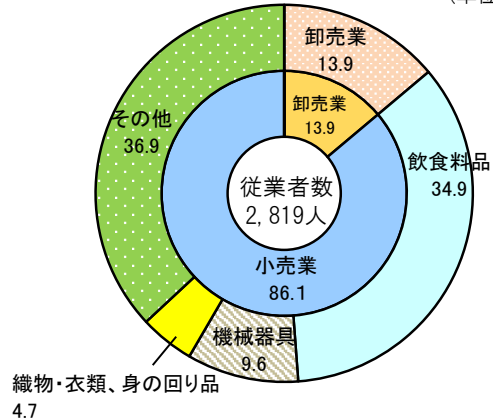
(単位：%)



(経済センサス)

従業者数の構成比（平成28年）

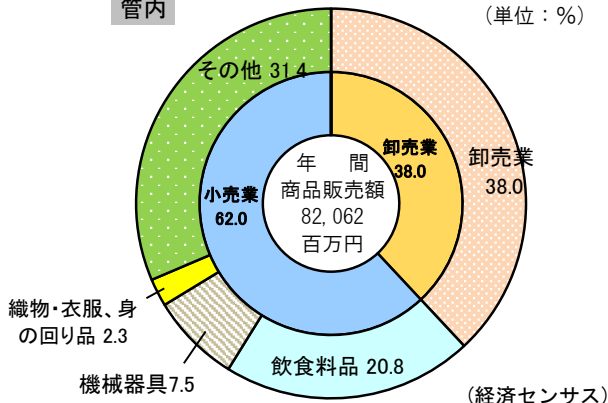
(単位：%)



(経済センサス)

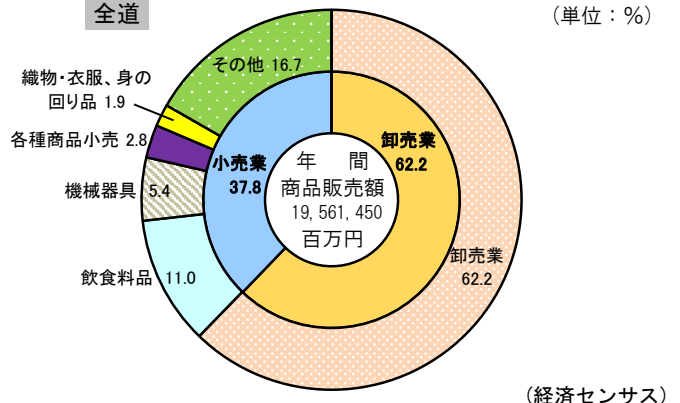
年間商品販売額の構成比（平成28年）

管内 (単位：%)



(経済センサス)

全道 (単位：%)



(経済センサス)

留萌の工業



(塩数の子)

留萌振興局管内の工業は、令和元年工業統計調査でみると、事業所数で49カ所、製造品出荷額で268億円となっています。

令和元年の製造品出荷額の構成比をみると、水産加工品を中心とした食料品製造業が全体の86%を占め、管内の製造業の主要業種となっています。

平成27年から平成28年で製造品出荷額が減少しましたが、平成30年から再び増加傾向にあります。

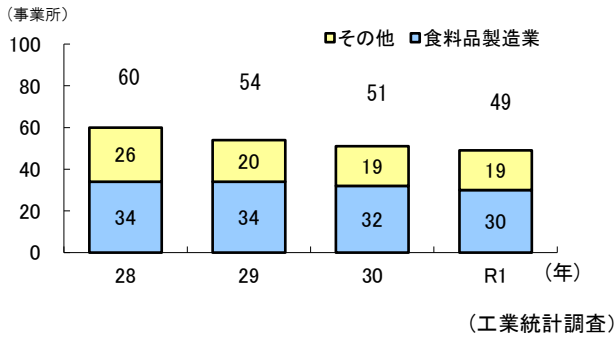
今後、食料品製造業の一層の発展を図るため、加工技術のさらなる向上と地場産品を生かした商品開発や市場開拓が課題となっています。

管内工業の概要(令和元年)

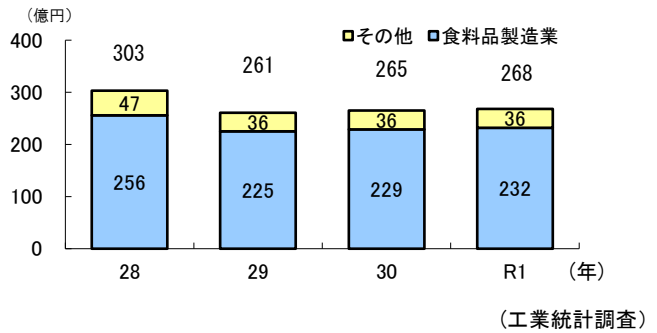
区分	管内	対全道比	
		管内	全道
事業所数	49事業所	1.0%	5,063事業所
従業者数	1,461人	0.9%	170,662人
製造品出荷額	26,844百万円	0.4%	6,327,627百万円

(工業統計調査)

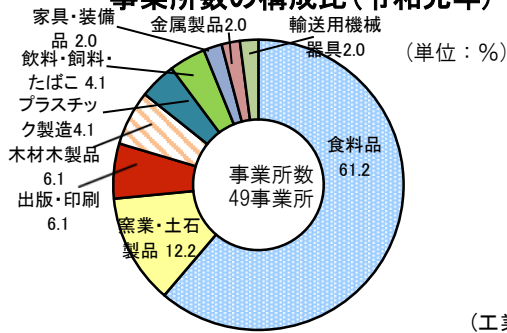
事業所数の推移



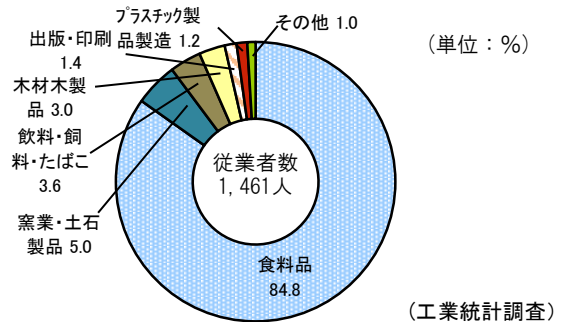
製造品出荷額の推移



事業所数の構成比(令和元年)



従業者数の構成比(令和元年)



製造品出荷額の構成比(令和元年)

